



留学生シンポジウム

GFLスペシャルセミナー

実施日:2022年12月7日

実施場所:荒牧キャンパス6号館C204(ハイブリッド開催)

リーダー:共同教育学部英語専攻1年 関根悠真 / 情報学部情報学科1年 小田朱莉



Gunma University

<留学生シンポジウムの目的と概要>

留学生による自国紹介や留学経験者の話から、留学を通しての国際理解を深め、今後の留学に向けて情報収集を行い留学へのモチベーションを高めることを目的とする(図1)。

<当日の次第>

司会

共同教育学部2年 さん
同 さん

開会の辞

共同教育学部長 藤森 健太郎 先生

発表

1. 留学生による発表
・ポーランド さん
・アメリカ さん、さん

2. 群大生による発表

・インド・シンバイオシス大学オンライン留学プログラム
情報学部2年 さん
・イギリスキール大学実留学
教育学部4年 さん

グループ・ディスカッション

コメント

共同教育学部1年 さん
情報学部1年 さん

総評

大学教育・学生支援機構 大学教育センター
Pramila Neupane 先生

閉会の辞

共同教育学部国際交流委員長 郡司 明子 先生

<内容>

1. 留学生による出身国の紹介

・ポーランド (さん)

ポーランドの歴史、観光地、料理、有名な人の紹介があった。ポーランドに関しては他の活動での発表でも深く触れていないため、貴重な情報であった。

・アメリカ (さん)

留学するきっかけや、母校紹介、居住地域の紹介、アメリカの学校教育制度などの紹介があった。中学校や高校で学ぶ典型的なアメリカの文化だけでなく、実際にアメリカで進んでいる無神論についてなど、出身だからこそ知っている情報が多かった。

2. 留学経験者の発表

・インド・シンバイオシス大学オンライン留学プログラム (情報学部2年 さん)

オンライン留学ならではのワークショップ、実留学とオンライン留学の違いについて詳しい紹介があった(図2、3)。

・イギリス・キール大学実留学(教育学部4年 さん)

実留学までの準備(英語の勉強や荷物の準備など)から、実際にイギリスで体験した留学のよさや大変さについて、現地のイギリスからzoomを用いて紹介があった。このようなzoomを用いて発表をしてもらうことは初めての試みだったが、よりリアルな情報をいち早く届けられた。

3. グループ・ディスカッション

留学生からの話や留学経験者の話を聞きzoomを用いてディスカッションを行った(図4)。



図1 開会式の様子



図2 留学経験者の発表



図3 留学経験者の発表



図4 グループ・ディスカッションを終えてのコメント

<まとめ・感想>

留学生の方から自国の文化・教育、日本での学びについて詳しく聞くことができた。また、留学経験者の発表では、コロナ禍という環境下における留学について話を聞くことができた。オンライン留学は、コロナ禍から生まれた新しいタイプの留学で、実留学と比較して費用や時間面など取り組みやすいと感じた。コロナ禍だからといって留学を諦めるのではなく、自分の語学力を向上させたり、異文化交流を行う機会は多くあると思った。実留学は、実際に他国の文化を肌で感じることができ、外国語を必ず話さなければならないという環境に置かれることから語学力やコミュニケーション力を大きく成長させられるという実留学ならではの魅力があると感じた。さらに、zoomを用いることで、実際に留学している方からの発表を聞くことができたため、よりリアルで鮮明な情報を知ることができたと思う。